

表1 収穫体系別の小豆生産に係る投下労働時間
(調査経営実績)

類型	ピック アップ スレッシャ	2畦豆用 コンバイン		収穫委託 :コンバイン	統計値 (平成 15年)
		十勝	オホーツク		
耕起整地	0.41	0.42	0.88	0.59	1.19
基肥	0.00	0.02	0.18	0.03	0.34
は種	0.49	0.41	0.84	0.62	0.76
追肥	0.05	0.04	0.02	0.00	0.07
中耕除草	2.10	3.18	1.17	3.16	7.44
うち、機械作業	0.66	0.65	0.49	0.89	-
うち、手取り除草	1.44	2.53	0.68	2.27	-
防除	0.12	0.12	0.14	0.22	0.54
刈取収穫	1.33	1.06	0.71	0.35	4.17
生産管理	0.31	0.17	0.08	0.03	0.32
直接労働合計	4.81	5.41	4.01	5.00	14.83
間接労働	0.07	0.10	0.06	0.12	0.36
合計	4.87	5.52	4.07	5.12	15.19
小豆平均作付面積	7.1	6.5	5.2	7.3	2.7

資料:生産費調査結果、および農業経営統計調査:平成15年産工業農作物等の生産費より作成。
注:1)ピックアップスレッシャでの刈取収穫はビーンカッターでの刈取とピックアップスレッシャによる収穫の時間である。2畦豆用コンバインでの収穫は、2条用の豆用コンバインでのロークロープヘッドを用いたダイレクト収穫である。委託で用いるコンバインは2条用の豆用コンバインまたは4条用の汎用コンバインである。
注:2)収穫委託の刈取収穫時間は収穫・出荷時の立会い時間である。

表2 収穫体系別の小豆生産費 (調査経営実績)

類型	ピック アップ スレッシャ	2畦豆用 コンバイン		収穫委託 :コンバイン	統計値 (平成 15年)
		十勝	オホーツク		
種苗費	2,000	2,102	2,124	2,180	1,981
肥料費	10,499	9,223	6,175	7,967	8,366
農業薬剤費	6,477	5,042	7,169	8,048	5,949
光熱動力費	2,568	2,800	3,910	3,703	2,059
その他諸材料費	489	138	81	135	4
土地改良及び水利費	116	126	820	0	191
賃借料及び料金	1,156	3,952	2,666	13,042	895
物件税及び公課諸負担	2,044	2,398	3,511	2,848	1,769
建物費	2,119	2,187	1,170	1,835	938
自動車費	5,364	2,998	2,690	1,302	14,538
農機具費	25,349	33,991	23,596	16,364	-
うち、収穫機償却費	4,392	18,506	5,398	0	-
生産管理費	176	176	448	195	371
物財費	58,356	65,133	54,359	57,619	37,061
家族労働費	8,881	7,624	7,325	7,299	20,120
雇用労働費	0	2,466	0	1,920	1,870
労働費	8,881	10,090	7,325	9,219	21,990
副産物価額	0	0	0	0	279
資本金子	4,094	2,569	2,672	2,820	2,850
地代	10,000	9,333	10,000	10,333	10,913
全算入生産費	81,331	87,126	74,357	79,992	72,535
単収(kg/10a)	262	262	232	262	157
生産物当たり生産費 (円/60kg)	18,602	19,927	19,203	18,295	27,620

資料:生産費調査結果、および農業経営統計調査:平成15年産工業農作物等の生産費より作成。
注:1)単収の値は、十勝は十勝総合振興局資料の2017~2019年の3か年平均値、オホーツクは過去の実績を踏まえ十勝より0.5俵(30kg)少ない値とした。
注:2)調査経営の2畦豆用コンバインの取得価額は同程度であったが、オホーツクの経営の中に償却期間を超えて利用する経営が含まれるために収穫機償却費が低くなっている。

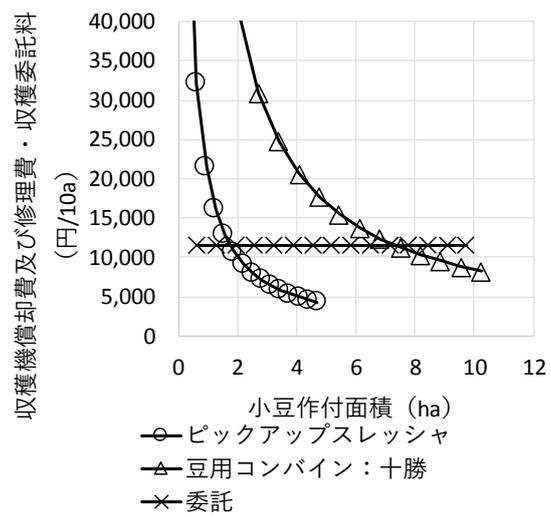


図1 収穫体系別の費用曲線
注:1)各収穫体系の費用は、調査結果を基に利用機械を設定して算出した。
注:2)収穫体系別に設定した作付割合は豆類25%弱、小豆10%前後である。経営面積の増加に比例して小豆の面積を増加させて面積当たり費用の推移を試算した。
注:3)小豆及び菜豆の作付面積を収穫機械に係る費用の負担面積(上限:15ha)とした(負担面積上限時の小豆作付面積:ピックアップスレッシャ:4.7ha、2畦豆用コンバイン(十勝)10.2ha、委託:9.7ha)。

表3 収穫体系別の60kg 当たり生産費
(平年・低収年を想定した試算値)

収穫体系	小豆 作付面積	平年	低収年
		60kg当たり 全算入生産費	
ピックアップ スレッシャ	3.0ha	17,414	21,258
	4.7ha ^{注1)}	15,086	18,417
2畦豆用 コンバイン	3.0ha	25,897	31,682
	6.0ha	20,711	25,337
	9.0ha	17,679	21,628
収穫委託 (コンバイン)	3.0ha	21,860	26,742
	6.0ha	19,265	23,568
	9.0ha	17,648	21,589
2畦豆用 コンバイン	十勝 9ha	17,679	21,628
	オホーツク 7.9ha ^{注1)}	18,628	22,740

資料:作物統計および農業物価統計調査、農家調査より作成。
注:1)図1と同じ前提条件の下で試算した。図1注2)注3)参照。
注:2)平年は2011~2020年の平均収量。低収年は同期間の収量の低い3か年平均値である。

詳しい内容については、次にお問い合わせください。
道総研十勝農業試験場 農業システムグループ
電話 (0155) 62-9835 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp